

学 年 5 年 2 組

氏 名 坂下遼

題 名 この世から電気がなくなるとどうなるのか

本 文 20 行程度

この世から突然電気がなくなるとしたらどうなるという疑問について調べてみました。電気が使えるようになってから毎日のように使っていた人類のもとから電気がなくなるとどうなるのでしょうか。まず私たちがいつも使っている電化製品について書いていきましょう。照明、冷蔵庫、電子レンジ、冷暖房、電車や自動車、街頭、PC やスマートフォンなどの連絡手段、テレビ、電気ポット、お風呂などです。おおまかに書きましたが、どれも生活に必要なものばかりが電気を必要としていることがわかりますね。もし電気がいきなり使えなくなった場合わたしたちの家庭生活はどのように変えられるのでしょうか。まず突然電気が使えなくなったらみなさん照明がつかえなくなるとおもうひとが多いとおもいます。照明が使えなくなるということは、ていでんを思い浮かべませんか。照明だけでなく、テレビも使えなくなるので外部からの情報が遮断されます。スマホやノートパソコンがあるから大丈夫と思う人もいますが、今回は「電気がいきなり消えてしまう」ことを仮定しているのでスマホも PC もつかうことができません。なぜなら徐々に充電がなくなっていくからです。そして 1 番だいじなのは季節です。もしも真冬のなかで電気が使えなくなってしまった場合、暖気をとることができなくなる家庭が多いでしょう。なんとか暖気を獲得したとしても困ることはほかにもあります。その困りごとは食料管理です。電気がなくなるということは、冷蔵庫が冷えなくなってしまう食料が腐ってしまいます。冬であればなんとか腐るのに時間がありますが、それでも限界はあります。その他ですとトイレです。最近のトイレだと電気を使って流すタイプが多いと思うのでトイレが使えなくなってしまう。家庭だけではなく交通手段にも影響が及びます。まず思いつくとしたら電車です。電車は名前の通り電気を使います。つまり電車が動かなくなるのです。会社や学校への交通手段がなくなるのは最悪ですよ。人の命にも関わります。病院が機能しなくなります。などなど電気が使えなくなることを書きました。でも、もしもの話が現実になってしまうかもしれません。各家庭が電気を使いすぎると供給が間に合わなくなります。電気も無限にあるわけではありません。電気という大切な資源を使い続けると資源がなくなるかもしれません。こまめに節電すると資源がなくなりづらいのかなと思いました。